

# あなたに知ってほしい。『乳がん・子宮がん』のこと



## 乳がんは11人に1人が患う時代

- ・発症は、40～60歳代に発症のピークがあります
- ・若い女性にもがんが増えていきます

## 乳がんってどんな病気？

- ・乳房に固いしこいをつくる病気
- ・症状は、しこり、くぼみ、皮膚の変化、脇(リンパ)の腫れ、乳頭から出血など
- ・早期にがんを発見・治療すると、90%以上治ります
- ・進行するとリンパ節・骨・肺などにがん細胞が転移し死亡することもあります

## 月に1回の『乳房セルフチェック』がとても大切！

早期発見につながる！ 乳房を見て・触ってチェック！



### 1 鏡の前で形をチェック

鏡の前で両腕を上げ、脇の下から乳房にかけて観察。乳房の一部に引きつれや陥没がないか、左右の大きさが不自然に違ってないかを確認する。



### 2 全体をくまなく触る

ボディソープなどで指の滑りを良くしてから、人差し指・中指・薬指の3本で脇の下から乳首までまんべんなく円を描くようになでる。硬いしこりがないか確認。



### 3 分泌物がないかチェック

左右の乳首を軽くつまんで、透明の液や血などの分泌物が出ていないか確認する。

## 市が実施する乳がん検診ってどんなことするの？

### ★超音波検査: 30～39歳が対象★

・乳房に超音波をあて、異常を調べます。  
良性乳腺症・乳腺線維腺種・のう胞・悪性乳がんなどの発見に有用。

★検査に伴う痛みはなく、検査の所要時間は、5分程度です。

### ★マンモグラフィ検査: 40歳以上が対象★

・乳房の片方ずつを機械の板で挟み、X線撮影をします。  
触ってもわからない小さな乳がんやしこりのない乳がんの発見に有効。

★乳房を挟むため、多少の痛み(個人差あり)があります。  
検査の所要時間は、5分程度です。

保健センターで毎年受診可能

保健センター又は、みわレディースクリニックで和暦の生まれ年の偶数年・奇数年で区別し、2年に1回受診可能  
令和2年度は、和暦の偶数年生まれの方が対象  
奇数年生まれで令和元年度未受診の方: 保健センターへ。  
受診期間: 令和2年6月1日～令和3年3月31日

## 子宮頸部がんってどんな病気？

- ・子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染が「がんの発病」に関与
- ・約80%の女性が生涯のうち一度は感染するごくあいふれたウイルス
- ・発見が遅れると妊娠・出産が望めなくなり命を落とすこともあります
- ・HPVの主な感染経路は性交渉と考えられています

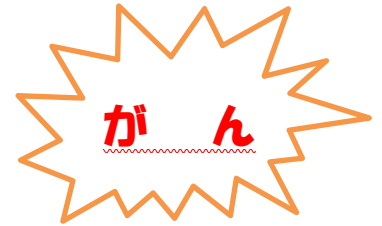


## 20歳代から40歳代に発症のピーク！

HPVウイルスは、免疫力が高いと自然に排出されるが、排除されないで感染が続くと…



がんになる前の状態  
**前がん状態(異形成)**  
となり、  
さらに進行すると…



◆前がん病変・初期がんの段階では、あまり自覚症状がありません◆

## 子宮体部がんってどんな病気？

- ・50歳代から60歳代の閉経前後に発症のピーク！
- ・子宮の奥の体部の内膜にできるがんのこと
- ・体がんの約8割は女性ホルモン(エストロゲン)の長期的な刺激が関連しています
- ・症状の多くは、不正出血です

## 市が実施する子宮がん検診ってどんなことするの？

子宮がん検診は、検診車で実施する**集団検診**と市内産婦人科で実施する**個別検診**を選択し受診します。

★集団検診(検診車)⇒子宮頸部がん検診のみ実施。

★個別検診(医療機関)⇒※下記の条件に該当する方のみ子宮頸部がんに体部がん検査も併せて受診可能。

(※条件:最近6ヶ月以内に不正出血、月経異常、褐色帯下のいずれかに該当し、医師が必要と判断した方)

★子宮がん検診20歳以上が対象★

★多少の痛み(個人差)があります。

検査所要時間:5分程度

子宮頸部がん検診

子宮体部がん検診

・子宮の下3分の1の部分。子宮の入口(頸部)の細胞をこすり採り、がん細胞の有無を調べます。

・子宮の上3分の2の部分。子宮の奥(体部)の細胞を採取し、がん細胞の有無を調べます。

★申込みについて★

★和暦の生まれ年の偶数年・奇数年で2年に1回受診可能★

集団検診⇒保健センターへ申込み(※定員になり次第、受付を終了させていただきます)

個別検診⇒偶数年生まれの方:直接医療機関へ。

奇数年生まれで令和元年度未受診の方:保健センターへ。

受診期間、令和2年6月1日～令和3年3月31日

※注意:医療機関によっては、定員を設定しているがありますのでご承知おきください。